



大原中だより

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

ホームページ : <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397

FAX 048-835-1357

第 2 号

令和 5 年 5 月 2 日

大原中生の皆さん、大志を抱け

校長 岡村 洋彦

若葉の緑が目にしみる季節となりました。薫風の中、生徒も各教室、グラウンドや体育館、部活動の活動場所で、様々な教育活動に取り組んでいます。

さて、入学や進級をした生徒たちもひと月が過ぎ、一人ひとり違いはありますが、だんだんと新しい環境に慣れてきたようです。また、この季節は、これまでの緊張が解け、体調を崩しやすい時期でもあります。お子様の様子に不安を感じられましたら、遠慮なく担任をはじめ学校の方に、御連絡・御相談ください。

さて、「5月5日子どもの日」を前に、毎年子どもたちへのアンケート結果がニュースで話題になります。その中には、将来なりたい職業や夢へのアンケート結果も多いです。自分の将来に思いを馳せることは、とても素敵なことですし、何かしらの憧れや夢、理想をもって生活してほしいと願っています。

次の文章は、星一郎氏(作家、心理療法士)の言葉です。

急に「理想の自分」になろうとせず、
「今の自分」にできることをすればいい。
今の自分をちゃんと受け止めてあげること。
「今の自分がキライ」という気持ちを持たないことです。



理想や目指す自分の姿を思い描きながらも、途中で焦ったり、落ち込んだりすることなく、今の自分を自分自身で好きになること。自分がしたいことを大切に、着実な歩みで生きていくことが重要です。理想の自分を確認したり、時には夢や憧れを変更したりしながら、やがて明確な自分の将来や進路を決めていくことでしょう。ですから子どもたちには、今のうちに「大志」のある夢をもってほしいと思っています。

「大志」と聞くと、「少年よ、大志を抱け」という有名なクラーク博士の言葉を思い出しますが、次のように付け加えられています。

少年よ、大志を抱け。
それはお金のためではなく、自己の利益に対してでもなく、
また世の人が名声と呼ぶあのむなしいもののためでもない。
人はいかにあるべきか、その道を全うするために、
少年よ、大志を抱け。



子どもたちの夢には、「〇〇が好きだから」「憧れるから」「お金が稼げるから」「有名になれるから」など、それぞれの理由があるでしょう。もちろん人間ですから、自分のお金や利益なども大事です。でも、金銭にとらわれたり、自分の利益だけを考えたりするのではなく、人間としてあるべき姿を実現するために大志を抱いてほしいとクラーク博士は願っているのです。子どもたちには、夢や希望をもって自分の道にひたすら汗を流し、人間としてあるべき姿を求めながら生きる人のすばらしさを知ってほしいです。

本校の学校教育目標である「はつらつとした生徒 地域に輝く学校」を具現化するための教育活動を工夫し、実践してまいります。引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

